

令和7年度 環境関連書籍等の活用
ご意見・ご感想 一覧表

施設区分	ご意見・ご感想
こども 広場	<p>・毎日のお楽しみタイムに絵本の読み聞かせを行った。乳幼児に環境という言葉は、そのままでは伝わりにくいので、身近な動物や植物などの絵本を通して関心を持ってもらえるように工夫した。 図書コーナーに、環境絵本のコーナーを設けて、保護者にも手に取って見てもらえるように展示した。</p>
保育園・幼稚園・認定こども園	<p>・ごみについて、子どもたちが自分たちの生活を振り返り、ごみに関して関心を深めることができた。 ・子どもたちは、カブトムシやカナヘビの気持ちになって絵本を見ていたため、身近な生き物に親しむきっかけになった。 ・保育士が環境についての絵本を意識して選ぶいいきっかけになった。 ・子どもたちは、絵本の内容と自分の知っていることや経験を照らし合わせて見ていたので、環境に関しての興味や関心を深めることができた。</p>
	<p>・おすすめ環境図書の紹介があって良かったです。</p>
	<p>・コーナーを作ることで本の表紙がよく見え、興味を持つ子が多かった。 ・本を見ながら実物(虫)を見ようといえた。 ・未満さんはコーナー前を通る機会が多いので、絵を見て興味を示していた。 ・大きなかぶは人気で、繰り返し読み聞かせた。 ・たんぼくん→実際に植えた苗と比べたりして、昨年の稲作りを思い出していた。</p>
	<p>・毎年6月の環境月間は、絵本を通じて環境に目を向けるよい機会となっている。今後も行っていきたい。</p>
	<p>・廃材を使つての製作活動を積極的に取り入れているが、環境について考える機会を持ったことで「まだ使える！」「もったいない」と意識が芽生えた。 ・「もったいない」の言葉を覚え、物などを大切にしようと思う気持ちを大人も子供達も意識できた。 ・保育士が「環境について考えられる機会を作ろう」と意識でき、子ども達の言葉や姿の変化を感じ取れて良い機会になった。</p>
	<p>・常設の本棚とは別に環境図書コーナーを設置し、子ども達がいつでも手に取って見られるようにしたことで、好きな本や興味を持った本を繰り返し読む姿があった。 ・どんぐりなど季節にあった絵本や、子ども達が興味を持っている生き物の絵本を読み聞かせしたことで、集中してよく見ていた。 ・絵本を見て、実際に「やってみたい(試してみたい)」という子ども達からの発信が増え、実現することができ、子ども達の興味関心を広げることができた。</p>
	<p>・最初の案内に、読み聞かせて利用された環境関連図書ランキングがあり、本の選定に役立った。今後もあると嬉しい。 ・お薦め図書をたくさん教えていただけるとありがたい。 ・環境月間をきっかけに、環境についての図書を職員が意識することができました。ありがとうございました。</p>
	<p>・読むと声を出して反応して喜んでた。繰り返し持つてきて「読んで」とアピールしていた。(0歳児) ・青虫から蝶になる様子を見て変化に気付いている姿があった。子ども達も生き物の成長を目で追えてよかった。戸外で絵本で見た虫を見つけたと「いた！」と嬉しそうに、優しく虫に触れようとしていた。力強く握ってしまい、時に死んでしまう姿があったが生きているからこそその場面だと感じた。(1歳児) ・知っている食材が多く、一緒に返事をしたり、親しみを持って何度も読んで楽しんでる。 ・興味のある虫が出てくると夢中になってみていた。絵本の中でダンゴムシが落ち葉が好きなのを知ると、落ち葉の中を探したり、ダンゴムシを入れたかごに葉を探して入れようとしていた。(2歳児) ・虫への興味、関心が高い子ども達のため、虫が出てくると喜び、繰り返し読んでいた。身近な素材の絵本はイメージしやすく、擬音語を真似しながら楽しんでた。クラスで飼育している虫が出てくる絵本は、どの子も最後まで楽しんでみる姿があった。実験を交えて話すことやイメージを広げることを楽しんでた。(3歳児) ・雨が降った日に、雨に関する本を読むと外の景色を見て絵本の世界をより楽しめていた。絵本の中に出てくる虫の特性をよく覚えており、虫探しの中で友達と虫について話すことを楽しんでいる。栽培物を見ながら、絵本と成長を照らし合わせる姿があった。(4歳児) ・身近にいる生き物の育て方や食べるものに興味を持っていた。虫を見つけると、絵本で知った情報を友達に教えていた。身近な生き物が出てくることで、虫を捕まえた後のことを考えるきっかけになった。(5歳児)</p>
	<p>・お皿の食べ残しを意識的に残さないようにしようという気持ちを持てるようになった。 食べ物を作る事は大変なので無駄にしないようにしようねと友達と会話しながらたべている姿があり意識できる事が大切と感じた。 残さず食べる何でも食べると言いながら絵本を見ていた。</p>
	<p>・環境月間ということで、専用のコーナーを作り、たくさんの方の目に留まる玄関ロビーに設置したのですが、借りられた本は少なく、皆さんの手に取ってもらえるような工夫がもう一つ必要と感じました。 館内本でコーナー作りをしているため、毎年この時期に同じ本を置いていることからマンネリ化してきている可能性があります。 年に一、二冊新しい環境関連の本を配本していただけると、地域の皆さんの興味をよりひけるかと思います。</p>
公民館・交流センター	<p>・6月の未就園児向け講座は、環境に関するテーマの読み聞かせとエプロンシアターを実施した。 食育に関する読み聞かせ等を通し、大人も環境への関心を持つことを学んだ。</p>
	<p>・公民館の利用者はほぼ60代以上のため、子ども達向けに環境図書の読み聞かせをするのが難しい。今年度は都合がつかず開催できなかったが、来年度は6月の土日に親子向けの市民講座を開催し、その中で環境図書の読み聞かせの時間をとってもらえるよう計画したい。 ・リサイクル、リユースの一環で、きれいな絵柄の不要な紙を本のしおりにして図書室に置いたら、本のしおりは購入しない方が多いそうで意外に喜ばれた。 ・今年度は玄関ロビーにも環境月間の掲示をして、図書室利用者以外の方の目にも留まるようにした。待ち時間などに図書室で環境図書を読んでもらえてよかった。</p>
	<p>・中部公民館周辺には子どもが少なく、施設面からも就学前の子どもの集い場になりづらいため、講座等の企画が困難なことから読み聞かせも実施できる状況ではない。 ・図書室がないため限られたスペースではあるが、多くの来館者の目につくところに環境に関する展示場所を設置し、環境への関心を持ってもらえるよう工夫した。 ・環境に関する図書が少ないため、南部図書館からお借りして展示を行った。</p>
	<p>・子育て学級や子育て支援時に、環境に関する本の読み聞かせができるよう来年度は計画します。 「誰もが読みやすい環境についての新刊を1冊程度」環境対策課から貸出していただけと環境月間の期間中に、置けるのでご検討ください。</p>
	<p>・「たいせつなこと」はお母さん向けに読み、かたつむりの夢はお子様向けに読みました。 昨年からおはなし会をはじめ、6月には環境月間を踏まえて行いました。</p>
	<p>・環境問題に関心を持つきっかけを提供できたのではと思いました。環境に関する図書も目に留まるレイアウトによって貸し出しも増え、良い取り組みでした。</p>
	<p>・公民館図書室に、毎月テーマを設定してコーナーを設けている。6月は「環境月間」に合わせて、環境を考える本を展示した。改めて6月が環境月間であることを知ったという方や、親子で環境関連図書を話題にして借りていく姿などがあり、啓発の機会となった。</p>